

## 種名と配列に関わる解説等（有櫛動物門）

### ○目録の解説

有櫛動物門においては、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

学名や分類体系はインターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に準拠した。

岡山県野生生物目録 2009 ではこの門の種は掲載されておらず、今回 3 種が新規追加された。新規追加種は下記の文献記録および検討会委員・協力員の確認記録、情報収集によった。

目録作成は協力員の多留聖典・田中正敦が中心となっており、本解説は多留聖典・田中正敦が作成した。目録作成にあたっては以下の検討会委員および協力員各位の協力を得た（五十音順）：阪田睦子、坂本明弘、福田 宏、吉松定昭（元・香川県水産試験場）、和田太一（NPO 法人南港ウェットランドグループ）、渡部哲也（西宮市貝類館）。

### ○主な参考文献

岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), 臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 50-52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告), 158-170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.

岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 刊行年不詳. 海産動物実習手引 第 4 版. 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 牛窓.

著者不詳, 1975. 岡山大学玉野臨海実験所. In 菊池泰二 (編), 臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 49 年度科学研究費総合研究 B 研究成果), 59-63. 全国臨海臨湖実験所長会議, 福岡.

WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019 年 2 月 14 日閲覧)

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
有櫛動物門 Phylum CTENOPHORA Eschscholtz, 1829										
有触手綱 Class TENTACULATA Eschscholtz, 1825										
フウセンクラゲ目 Order CYDIPPIDA Gegenbaur, 1856										
テマリクラゲ科 Family PLEUROBRACHIIDAE Chun, 1880										
1	テマリクラゲ	<i>Pleurobrachia rhodopsis</i> Chun, 1879	—	—	—	?	海域浮遊性			
カブトクラゲ目 Order LOBATA Eschscholtz, 1825										
カブトクラゲ科 Family BOLINOPSIDAE Bigelow, 1912										
2	カブトクラゲ	<i>Bolinopsis mikado</i> (Moser, 1907)	—	—	—	+	海域浮遊性			
無触手綱 Class NUDA Chun, 1879										
ウリクラゲ目 Order BEROIDA Eschscholtz, 1829										
ウリクラゲ科 Family BEROIDAE Eschscholtz, 1825										
3	ウリクラゲ	<i>Beroe cucumis</i> Fabricius, 1780	—	—	—	?	海域浮遊性			